

画像認識

生体認証

2026年度 自動認識の基礎知識セミナー

自動認識の基礎知識セミナーは、どなたでも参加できる自動認識技術の入門講座として、一次元・二次元シンボルやRFID（電子タグ）、バイオメトリクス（生体認証）の基礎知識を図式や事例を交えて分かり易く解説します。

RFID

バーコード

自動認識の基礎知識セミナー概要

講座	バーコード、RFID、バイオメトリクス、標準化
対象者	どなたでもご参加頂けます。特に新入社員・新任担当者の方に最適です。
URL	https://www.jaisa.or.jp/seminar.php (Webサイト)
申込	kiso-seminar@jaisa.or.jp (e-mail)

[1] 自動認識の基礎知識セミナー（集合形式 または オンライン受講）

開催日	2026年①4月22日（水）②6月19日（金）③8月27日（木）④10月20日（火）⑤12月11日（金）⑥2027年2月18日（木）	
開催時間	10:00～16:45（昼食、休憩含む）	
開催場所	（一社）日本自動認識システム協会 会議室	
講義内容	バーコード、RFID、バイオメトリクスおよび標準化の基礎的な知識、活用方法・応用事例ほか	
募集人員	40名（先着順）	
受講費用	会員企業 10,000円/人（税込価格 11,000円）	非会員企業 20,000円/人（税込価格 22,000円）

[2] 講師派遣による自動認識の基礎知識セミナー（集合形式 または オンライン受講）

開催日	ご要望により実施		
開催場所	ご指定場所		
講義内容	バーコード、RFID、バイオメトリクスの各科目を各1講座として、1回の派遣につき2講座以上にて対応します。講座の組合せはご要望に従って実施します。 ※ RFIDの実演に関しては免許の関係により別途ご相談		
実施費用 (1講座) ※2講座以上で お申し込みください	受講人数	会員企業	非会員企業
	20名未満	30,000円（税込価格 33,000円）	60,000円（税込価格 66,000円）
	20名以上	40,000円（税込価格 44,000円）	80,000円（税込価格 88,000円）
	50名以上	60,000円（税込価格 66,000円）	120,000円（税込価格 132,000円）
交通費等	講師交通費・宿泊費・日当等は講師人数分を別途ご負担願います。（100km圏内は除く）		
その他	セミナー会場の確保とプロジェクターの準備をお願いします。		

お問い合わせ

（一社）日本自動認識システム協会基礎知識セミナー事務局
Phone 03-5825-6651

✉ kiso-seminar@jaisa.or.jp

www.jaisa.or.jp

JAISA
Japan Automatic Identification Systems Association

1 バーコード、および標準化の基礎知識

<講義時間> 1時間45分(予定)

- ・標準化とは
- ・自動認識とは
- ・バーコードとは
- ・バーコードの歴史
- ・バーコードで何が出来る?
- ・バーコードのデータ
- ・ユニークIDとデータベース
- ・バーコードの種類と特徴
- ・バーコードの印字品質
- ・どのようにして読んでいるの

<一次元シンボル体系の概要>

- 今までに約200種類以上発表されている中で、ISO/IEC規格では5種類、JISでは6種類だけが規格化されている。
- 一次元シンボル体系では、可読文字が表示されている。



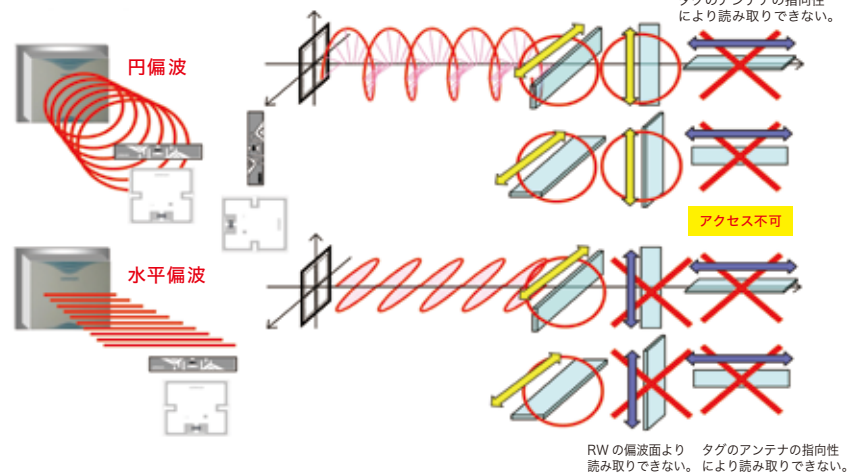
テキストサンプル

2 RFIDの基礎知識

<講義時間> 2時間20分(予定)

- ・RFIDとは
- ・RFIDで何が出来る?
- ・RFIDの種類と特徴
- ・電波法って何?
- ・RFIDの標準化とは
- ・UHF帯RFIDの特徴
- ・13.56MHz帯RFIDの特徴
- ・コンビニやアパレルの事例
- ・機器を動かしてみよう

リーダライタアンテナの偏波と、RFタグの指向性



テキストサンプル

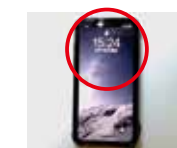
3 バイオメトリクス基礎知識

<講義時間> 1時間30分(予定)

- ・バイオメトリクスとは
- ・どうして使われだしたか?
- ・今、何に使われているか?
- ・生体認証の基本的な仕組み
- ・生体認証の種類と特徴
- ・導入する上での検討事項
- ・バイオメトリクスの標準化
- ・最近のトピックス

バイオメトリクス利活用の広がり

- 簡単・便利でなりすましが難しい本人確認方法の制度向上
- 新しいプロセスを作る DX の鍵ー生体認証ー



交通・街中
利便性と安全安心
快適な空間・地域の実現



金融・流通
口座開設~決済処理
スマホ完結



職場・教育
働き方の多様化
人手不足の解消



公共・医療
非接触・非対面な受付
オンライン申請拡大



身体的特徴や行動的特徴を抽出



バイオメトリクスを用いた生体認証装置と利活用分野

テキストサンプル